

(新規事業・新ビジネスの創出－ 3)

地域SNS基盤連携ネットワーク (インフォミーム株式会社) <http://asp.opensnp.jp/>

〔概要〕

SNSは、人と人のつながりを促進・サポートするコミュニティ型の会員制のサービスで、個人と個人を接続するものであるのに対して、OpenSNPは地域や団体の活動に活用できるグループウェアとして設計。機能面では、基本的なSNS機能に加え、情報を発信者がコントロールするアクセス制御・コメント制御、地域のさまざまなニュースを判りやすく見せるマップ・イベントカレンダー連動機能、簡単にムービー登録ができる「動画配信機能」など、情報の発信・交流機能を充実。また、デジタルサイネージの設置コストを5割から8割以上ダウン、運用コストをゼロにした画期的な「SNSサイネージ」機能を実装しました。平成25年春には、FacebookやTwitterなどのグローバルなソーシャルメディアとの融合機能を組み込み、地域の情報循環と情報コンテンツの地産地消を実現します。

「日経地域情報化大賞2008」大賞受賞

〔コラム〕

OpenSNPは、インフォミーム社によって平成18年4月から開発に着手、同年10月に兵庫県域の地域SNS「ひょこむ」のエンジンシステムとして登場して以来、館山・伊丹・盛岡・松江・佐用・三田・宍粟・横浜・熊谷・葛飾・世田谷・尾道・宇部・東峰・桐生・坂井・鶴ヶ島・春日井・山武など全国30を越える地域SNSに採用され、計2万人以上の人々が日々のコミュニケーションに活用しています。OpenSNPが高い評価を受けている理由は、単に人と人の交流を促進するだけでなく、

- ① 地域の人材育成・協働を創発する環境を創造することができる
- ② 便利で安全なネットワークを構築する運営技術がある
- ③ 地域の枠を越えたリソース連携を実現するプラットフォーム基盤を提供する

など、他のSNSエンジンではなしえなかった地域のソーシャル・キャピタルを覚醒させる統合環境を顕在化することができるからです。

今後は、「地域活性」だけでなく「地域防災」に関する事例を深め、より地域課題の解決に即した先進技術の実装とICTの活用手法の開発・提供を行っていきます。また、「ほどよい閉鎖性」を持つ信頼できる地域SNSサイトによるネットワーク連携は、コンテンツの地産地消のプラットフォームとして成長を続けていくものと期待されています。

〔制作費(うち公的な補助額)〕

開発費は、約50百万円(3,000千円:兵庫県)

運用費(税込)は、初期費用103千円～、月額運用費30.9千円～

(openSNS運用事例・兵庫県地域SNS「ひょこむ」のホームページより)



(左・トップページ、右上・動画配信機能、右下・SNSサイネージ機能)

<http://hyocom.jp/>

(問い合わせ先)

インフォーム株式会社

TEL:079-295-2700

e-mail:info@memenet.or.jp